

年度 2008 学期 前・後期	曜日・校時 前水1/後水1	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	スポーツ演習(バスケットボール・ソフトバレーボール) Sport and Exercise			
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等)	D16・17及びF27・28	科目分類	健康・スポーツ科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 岡村伸彦 /Eメールアドレス:okamura@kokoro.ac.jp /研究室:総合体育館2F(体育教官室) /TEL: 095-846-5561 ころろ医療福祉専門学校 /オフィスアワー:毎週水曜日授業後 11:00~12:00				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法: 小人数から大人数でも実践が可能な「バスケットボール」と「ソフトバレーボール」を題材とし、自己の特性や技能水準に合わせて生涯にわたってスポーツを楽しむ態度やマナー、協調性などの社会的スキルを習得する。 授業到達目標: 種目のルールや戦術を理解し、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができるようになる。チームや個々の能力において課題を見つけることができ、解決していくための手段を考えることができるようになる。ゲームを楽しむために戦術を考えたり、新ルールを考案できるようになる。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 各種目のルールや戦術を理解し、基本的技術の習得によって個々のレベルとともにチームのレベルを向上させていくことを考えて実践していく。 ゲーム中心で進めることによって特性を理解し、実践を通して基礎的な体力の維持を図る。 第1回 オリエンテーション(授業の進め方、ねらい) 第2回 バスケットボール ルールと楽しみ方 第3回 バスケットボール 個人技能(シュート、ドリブル、パス) 第4回 バスケットボール 個人技能(シュート、ドリブル、パス) 第5回 バスケットボール 集団技能(オフェンス、ディフェンス) 第6回 バスケットボール リーグ戦 第7回 バスケットボール リーグ戦 第8回 バスケットボール リーグ戦 技能テスト 第9回 ソフトバレーボール ルールと楽しみ方 第10回 ソフトバレーボール 個人技能(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス) 第11回 ソフトバレーボール 個人技能(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブ、スパイク、ブロック) 第12回 ソフトバレーボール 集団技能(オフェンス、ディフェンス) 第13回 ソフトバレーボール リーグ戦 第14回 ソフトバレーボール リーグ戦 第15回 ソフトバレーボール リーグ戦 技能テスト ※天候や施設の状況などにより上記のカリキュラムを変更する場合があります。				
キーワード				
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。			
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能テスト 30% 集団技能(ゲームや練習の内容・取り組む姿勢をチーム毎に評価する) 20% 欠席が3回以上の者は失格とする。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)				